

1. アンケートの結果報告

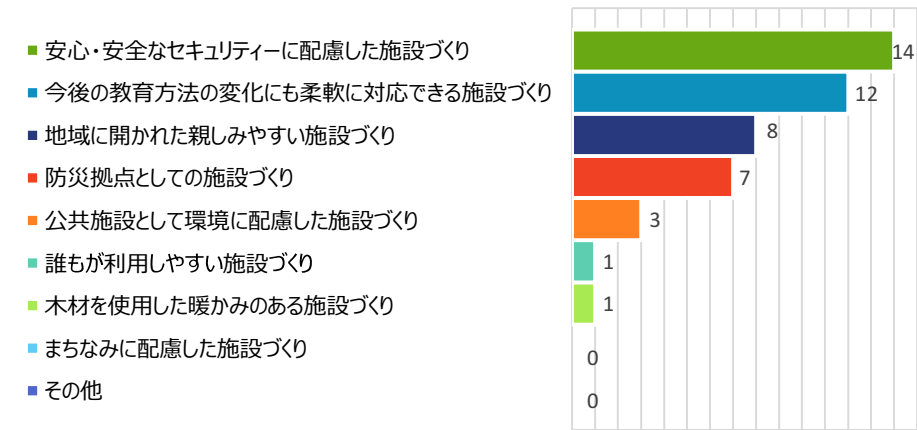
2. 配置平面計画比較表

3. 平面計画（案）

参考別紙：基本方針（案）

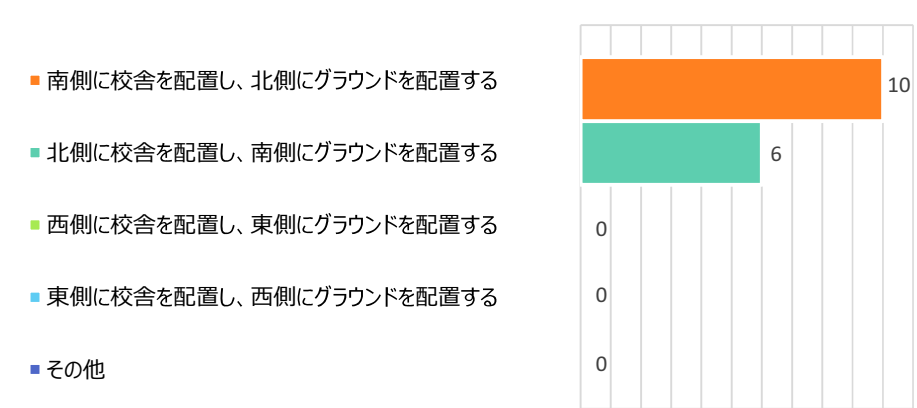
北鹿浜小・鹿浜西小学校の統合新校アンケート 集計結果

Q 1．学校施設に求める方針において、あなたがもっとも重要と思うものはなんですか。

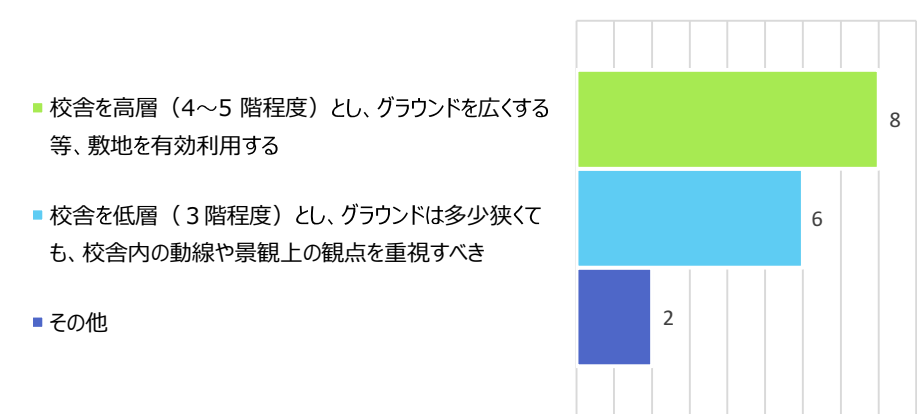


- この設問で頂いたご意見
- ・四角四面の校舎、校庭ではなく、曲線も含めたゆとりある施設にしていきたい。

Q 2．校舎とグラウンドの配置について、どのような配置が良いと思いますか。

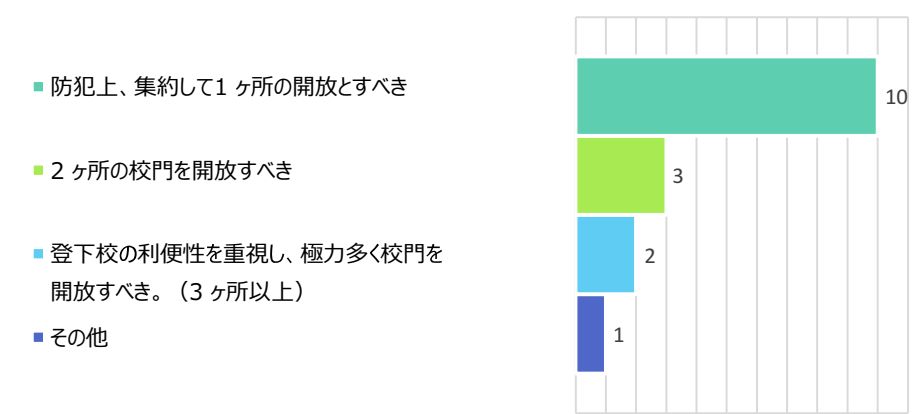


Q 3．校舎の階数とグラウンドの広さについて、どちらの考え方が良いと思いますか。



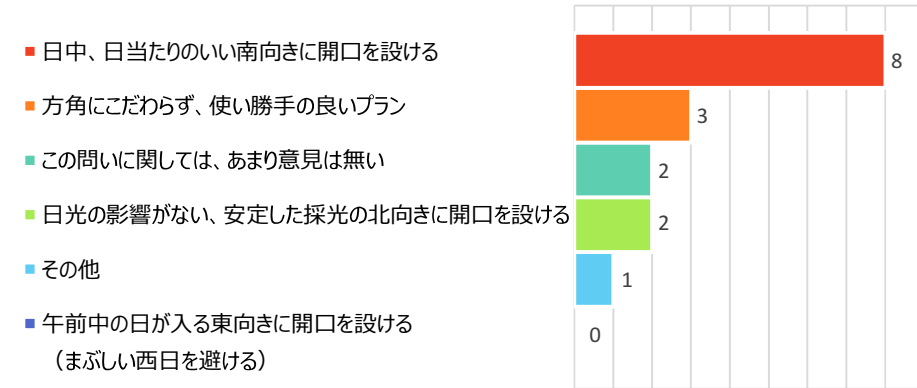
- 選択肢「その他」の主な内容
- ・校舎内の動線とグラウンドを広くの両方
 - ・教育上の事を最優先に考え、その結果で校舎の階数等を決定する。
- この設問で頂いたご意見
- ・地域との連携を考慮し、できる限りグラウンドを広く取っていただきたい。
 - ・グラウンドを広くとりたい。

Q 4．登下校時に使われる「校門」は、何ヶ所必要だと思いますか。（※校門は複数設置）



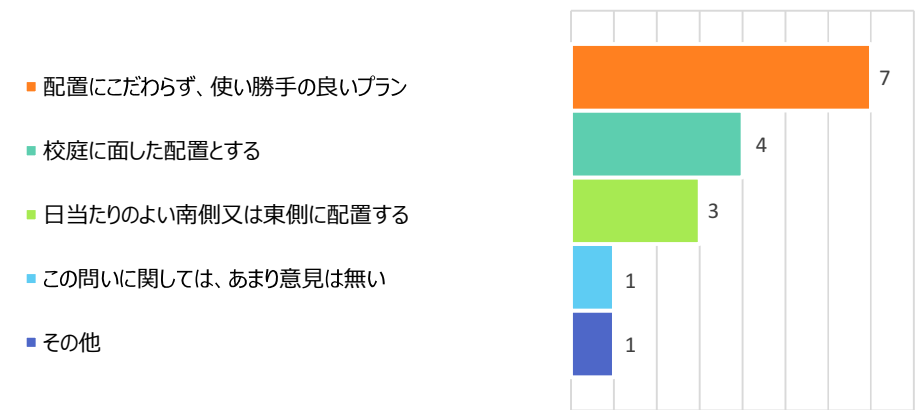
- 選択肢「その他」の主な内容
- ・本来は1ヶ所が望ましいが、登校時には2ヶ所使えればいいかと思う。
- この設問で頂いたご意見
- ・校舎(職員室)から校門が見渡せる箇所に設置する。また給食の搬入口とは別途にする。

Q 5．普通教室の窓の向きについて、どのような方針が良いと思いますか。



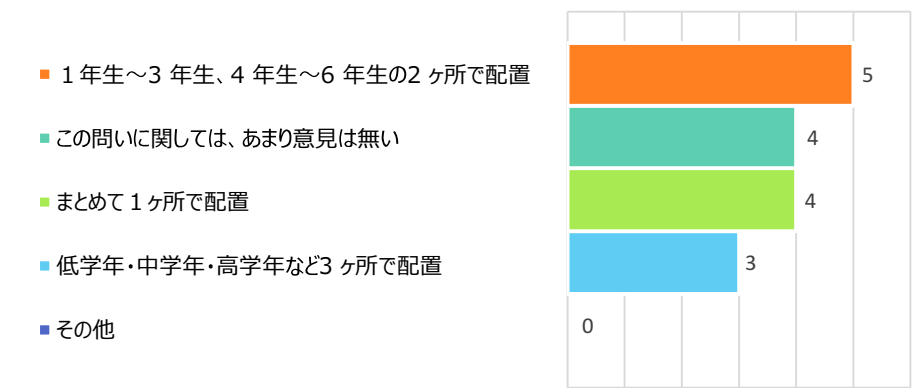
- 選択肢「その他」の主な内容
- ・日光の影響がない、安定した採光の北向きに開口を設ける。
- この設問で頂いたご意見
- ・直射日光が入りにくくなるよう工夫したい

Q 6．普通教室の配置についてはどのような事が最も重要と考えますか。

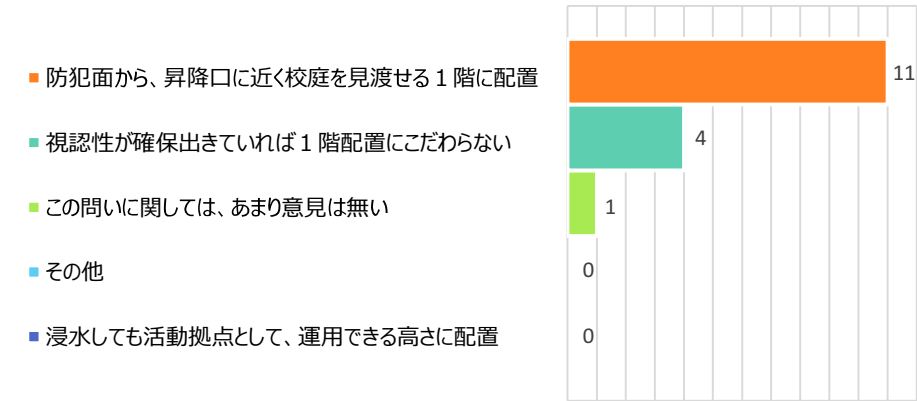


- 選択肢「その他」の主な内容
- ・校庭に面した配置とする。配置にこだわらず、使い勝手の良いプランの両者を選択

Q 7．昇降口は、何ヶ所必要だと思いますか。



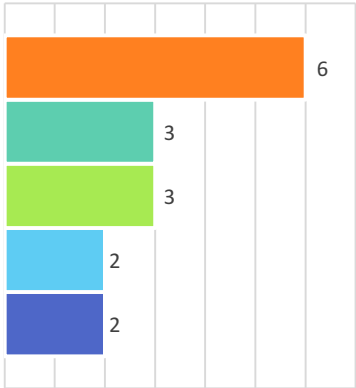
Q 8．職員室の配置について、どのような方針が良いと思いますか。



- この設問で頂いたご意見
- ・受付・事務室なども防犯に配慮した形態にしてほしい。

Q 9 . 体育館のあり方について、どのような事が最も重要と考えますか。

- 河川洪水が起きた際の避難所として利用できること
- 外部の人間も利用しやすい位置や階にあること
- 児童が日常で利用しやすい位置や階にあること
- この問いに関しては、あまり意見は無い
- その他



- 選択肢「その他」の主な内容
- 校庭に面した配置とする。配置にこだわらず、使い勝手の良いプランの両者を選択

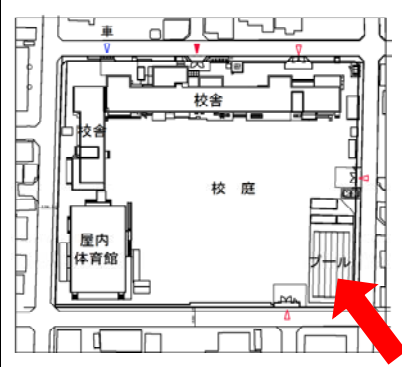

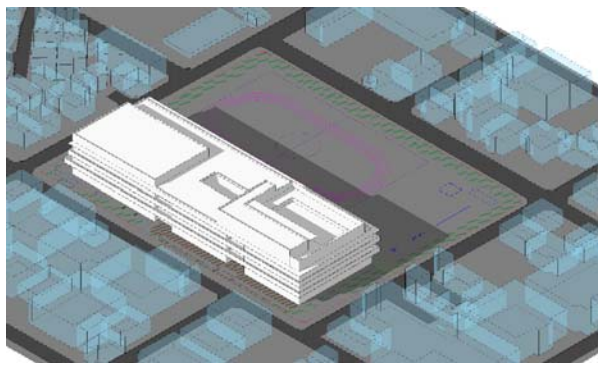
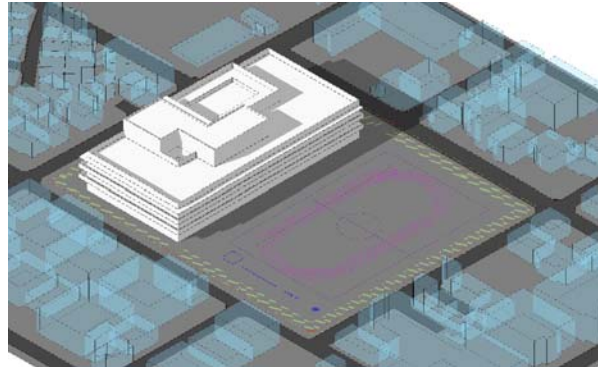
Q 1 0 . 新校舎へ継承していきたいことなど。ご自由にお書き下さい。

- 【資料関係のご意見】 2件
- 資料（貴重）はできるだけ残したい
 - 北鹿浜小、鹿浜西小の歴史がわかる資料
- 【樹木関係のご意見】 4件
- 記念樹
 - 学校の校庭にあるくすの木
 - かえでの木（北鹿浜小）を新校舎へ
 - 鹿浜西小の桜（体育館前）
- 【その他のご意見】 1件
- 卒業制作

Q 1 1 . その他、お気づきの点や要望事項があればご記入下さい。

- 【安全・防犯面のご意見】 2件
- 防犯上、避難所としての機能が果たせるよう、ある程度1Fを高めにしたい。（校庭等も）
 - 安全性の面から各教室に内線電話の設置を要望します。
- 【校庭関係のご意見】 2件
- グラウンドを人工芝にしないようお願いします。人工芝だとグラウンドで飲食が不可になるからです。北鹿浜・鹿浜西小の両校は昔より地域の行事を大切にしてきました。子供会、町会の運動会等の行事をこれまで通り行い地域に愛される学校として新校になってもらいたいと思っています。
 - 近年、想定外の暑さのため、校庭には極力日影があったほうが良いと思う。
- 【室・仕様関係のご意見】 4件
- キッズルームを設けてほしい。
 - 雨天時や学年集会等に利用できる2教室ぶち抜きの多目的スペースを各階に1つ要望します。
 - 出来れば現在の廊下よりもやや広い廊下にすることを要望します。
 - 各教室の廊下はガラス張りにしないことを要望します。
- ※外の刺激に弱い子にとっては全く学習に集中出来ません。
- ※児童の作品等を掲示するスペースを確保するため
- 【運用面に関するご意見】 1件
- プールは民間の施設を利用

■校舎の配置比較を下表の通り行う。

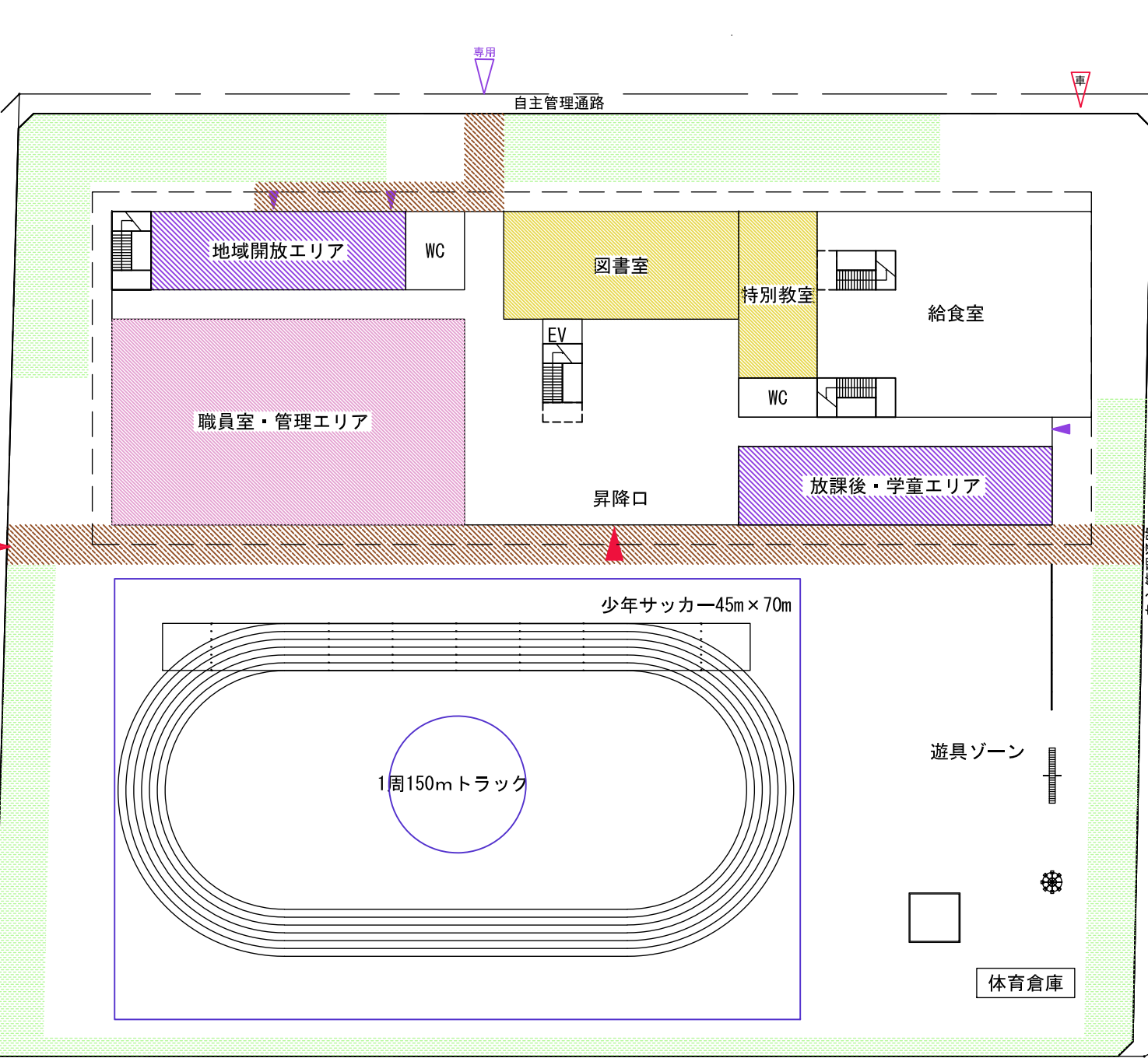
既設（旧鹿浜中学校）		A案(北校舎案)		B案（南校舎案）		D 案（西校舎案）	
							
計画階数		4階建て（普通教室2階～4階）+屋上プール階		3階建て（普通教室1階～3階）+屋上プール階		3階建て（普通教室2階・3階）+屋上プール階	
計画面積		約8,730㎡		約8,380㎡		約8,980㎡	
平面計画	普通教室の環境	南：日当たりがよい（南面の良好な採光）	◎	南：現状、南街区は低層建物なので日当たりがよい（南面の良好な採光） 南側街区の敷地転用が行われた場合、高層の建物が建築できるため、日当たりが悪くなる可能性がある。	○	東：午前中は日が入る（前方斜めからの入射となる）	△
	特別教室・多目的教室の環境	北・東：安定した採光	○	北・東：安定した採光	○	南・西：日中日当りは良いが、午後西日がさす	△
	日常の児童・職員の移動	4階	△	3階	○	3階	○
	防犯性	低学年を含め2階以上にいる為、突然の不審者への対策の有余がある。	○	低学年が1階にいる為、突然の不審者への対策の有余がない。	△	低学年を含め2階以上にいる為、突然の不審者への対策の有余がある。	○
屋外計画	校庭の広さ（緑地面積等含む）	約5,100㎡（約5,800㎡）	◎	約5,100㎡（約6,100㎡）	◎	約5,000㎡（約5,800㎡）	○
	校庭の配置・向き	南 校舎による影は発生しない	◎	北 校舎の日影が落ちる	△	東 午後に校舎の影が落ちる	○
周辺地域との関係性	日影	日影は落ちるが、現状の日影の状況と大きく変わらない	○	近隣への影響は最も少ない。 一部の東街区へ以前と違い夕方の日影が発生する。	○	日影は落ちるが、現状の日影の状況と比べると、東街区と一部の北街区への日影が減少する。	○
	校舎からの騒音（音楽室等特別教室）	特別教室は北街区に近接する。現状からの変化は少ない。	◎	校舎は南街区に近接する。	○	校舎は西側街区に近接する。	△
	プール・体育館からの騒音	北街区に近接する。現状からの変化がある。	△	南街区に近接する。現状からの変化は少ない。	○	西街区に近接する。現状からの変化がある。	△
	校庭からの騒音（体育・運動会）	校庭は東西街区・南街区に接する。現状からの変化は少ない。	○	校庭は東西街区・北街区に接する。現状からの変化が大きい。	△	校庭は東街区・南北街区に接する。現状からの変化が大きい。	△
	視線影響	特別教室の視線が北側街区へ影響あり。	○	普通教室の視線が南側街区への影響する。	△	特別教室の視線が西側街区へ影響があり。	△
	現状からの環境の変化	校舎位置が現況に近く、環境の変化が少ない。	◎	校舎位置が反転し、周辺街区の環境が変わる。	△	校舎位置が大きく変わり、周辺街区の環境が変わる。	△
総合評価		4階建となる。 教室・グラウンド共に陽あたりの良い計画。 既設の中学校とほぼ同じ配置なので、周辺地域への建物影響の変化が少ない。 日影規制の為、建物北側にある程度空地が必要となる。	◎	3階建とする事が出来る。 建物による日影の影響は近隣には少ないが校庭が日影になる。 現状は教室の日当りは良いが将来的に日当たりが悪くなる可能性がある。 校舎位置が反転し、周辺街区の環境が変わり、違和感が生じる可能性がある。	○	3階建とする事が出来る。 校庭が比較的整形となる計画。 教室の環境は普通教室・特別教室共に他の案に比べ劣る。 周辺街区の環境が変わり、違和感が生じる可能性がある。	△

凡例：	◎	○	△
	優れる	←→	劣る

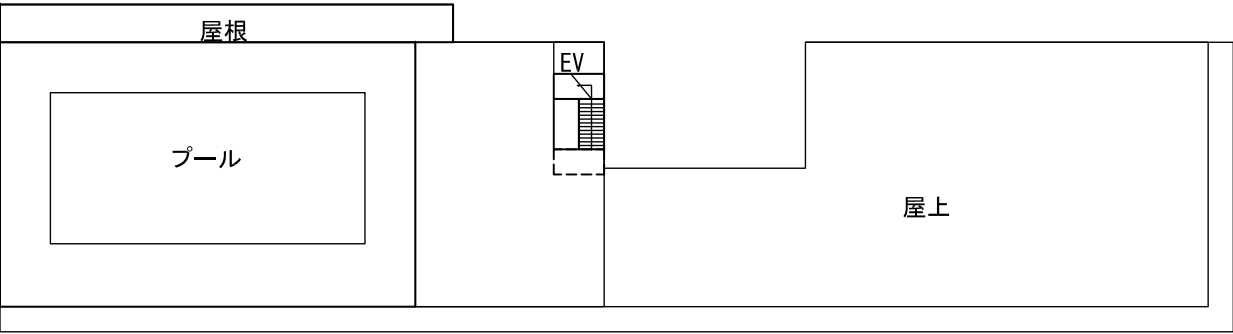
A案 北校舎案

- 凡例
- 普通教室
 - 特別教室
 - 体育館
 - 管理諸室
 - 放課後・学童教室
 - アプローチ
 - 入口
 - 緑地（想定）

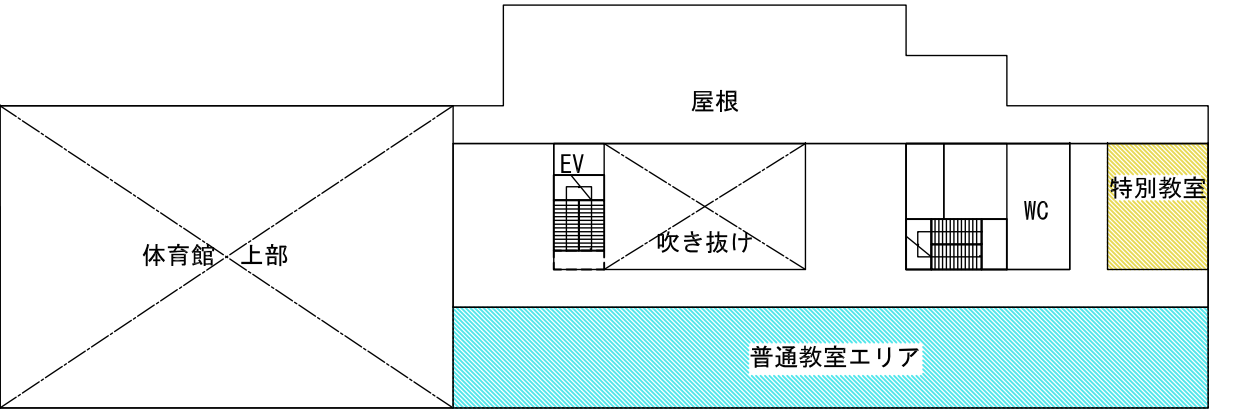
延床面積 8,727㎡
校庭面積 5,800㎡（緑地面積含む）



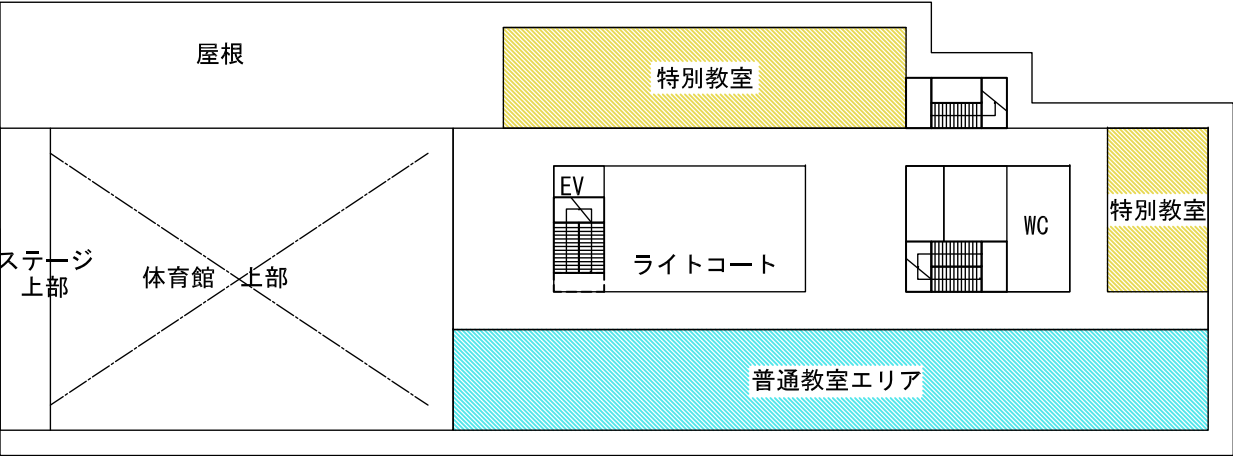
配置図・1F平面図 1/600



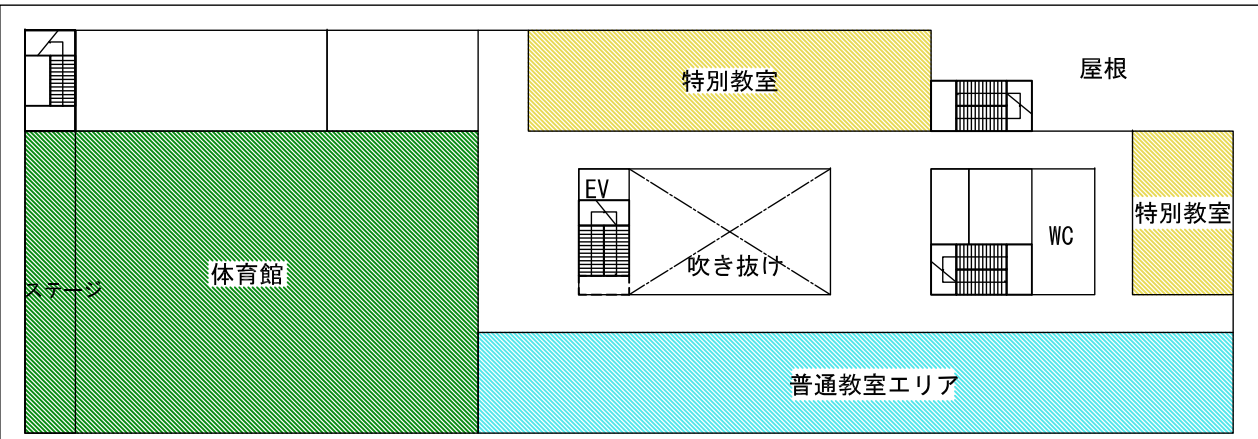
5F（屋上+プール階）平面図



4F平面図



3F平面図

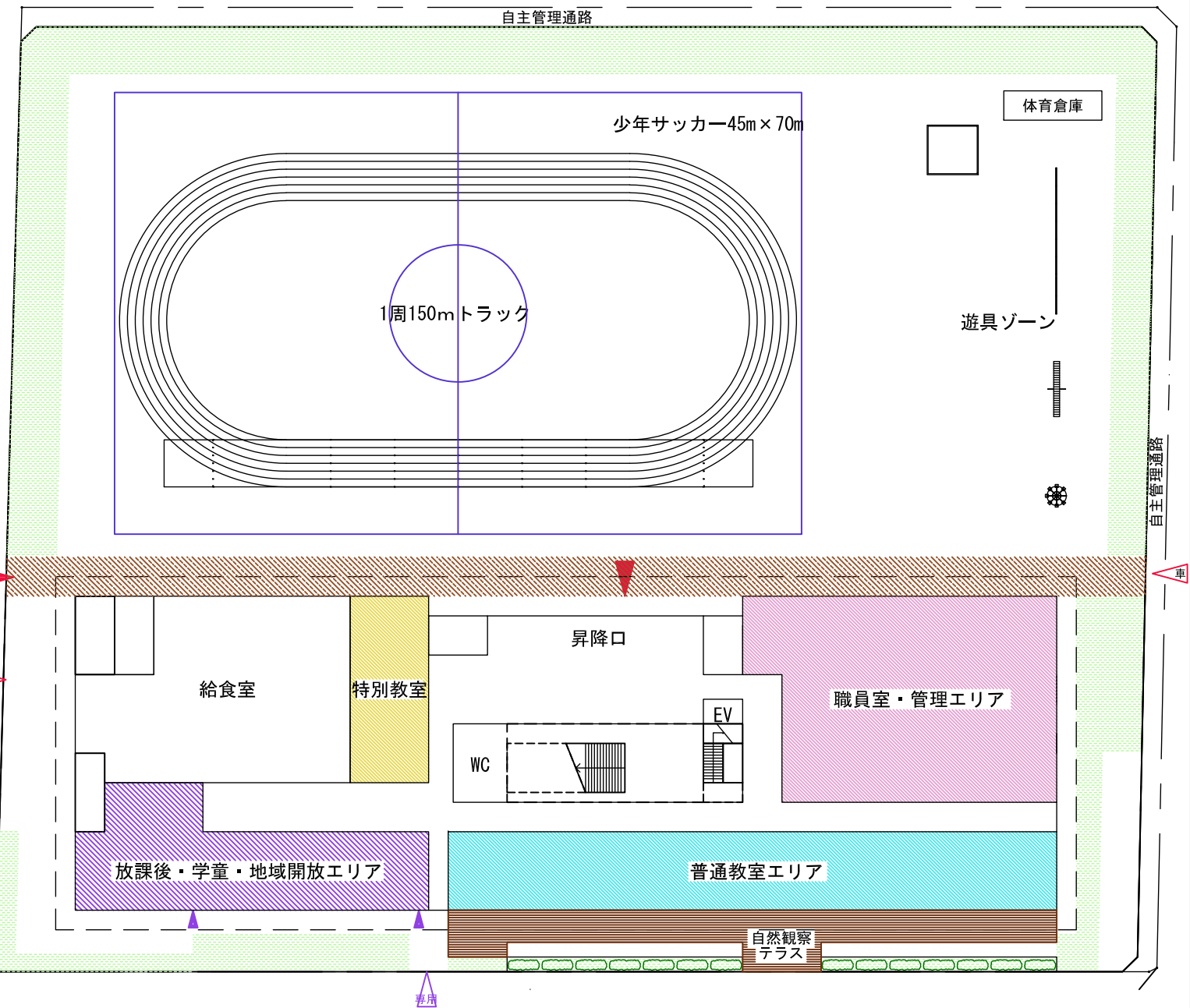


2F平面図

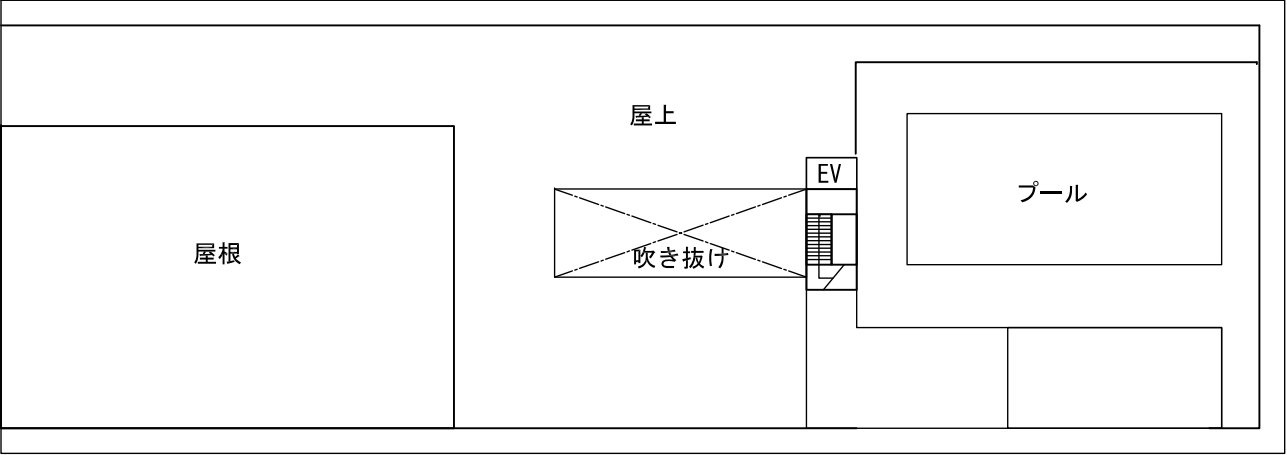
B案 南校舎案

- 凡例
- 普通教室
 - 特別教室
 - 体育館
 - 管理諸室
 - 放課後・学童教室
 - アプローチ
 - 入口
 - 緑地（想定）

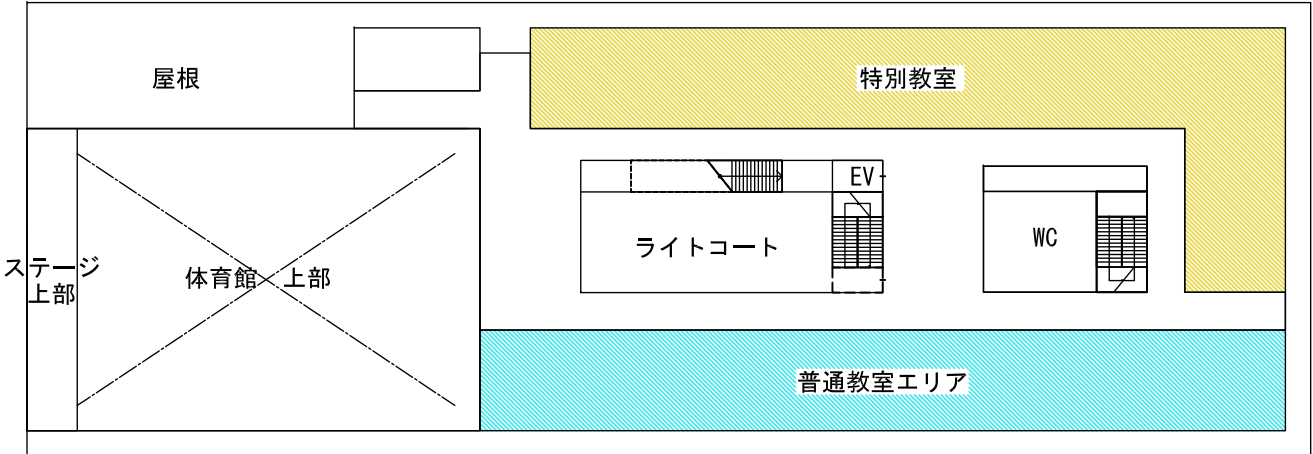
延床面積 8,382㎡
校庭面積 6,100㎡（緑地面積含む）



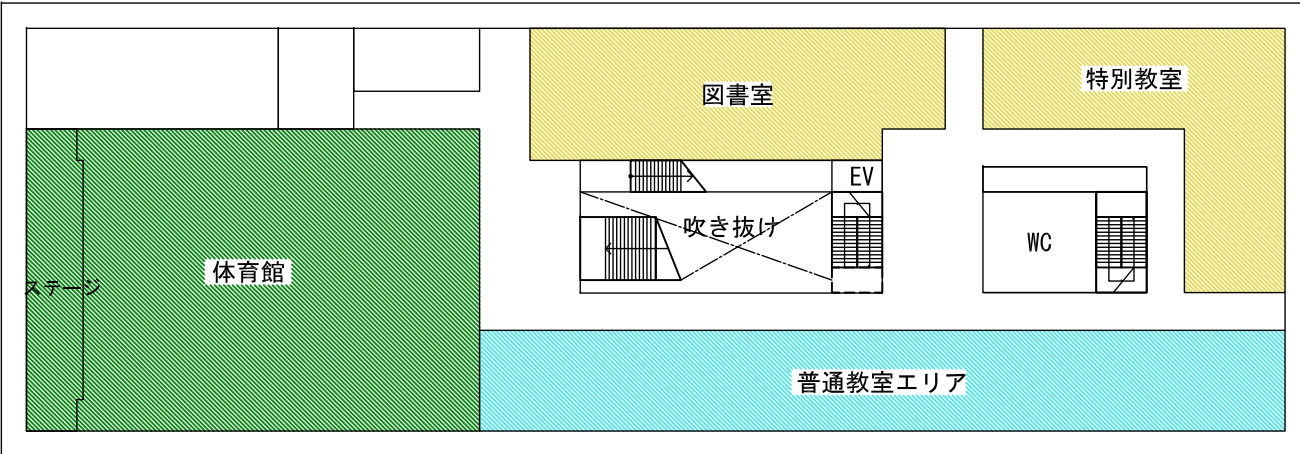
配置図・1F平面図 1/600



4F（屋上+プール階）平面図



3F平面図

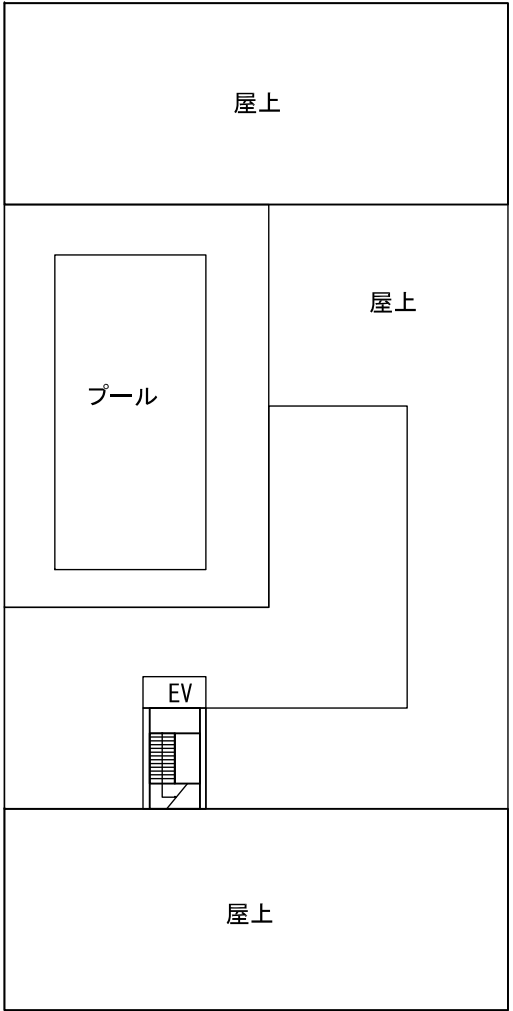
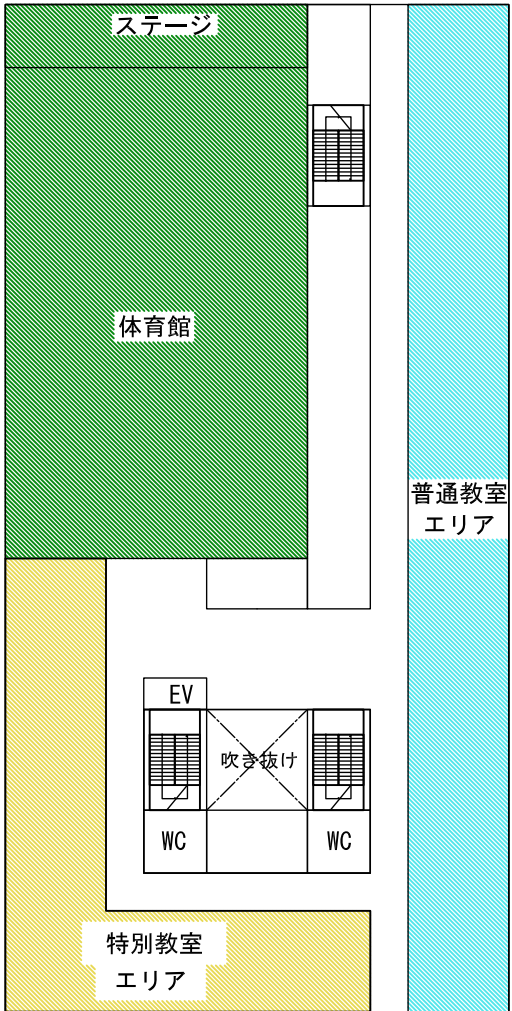
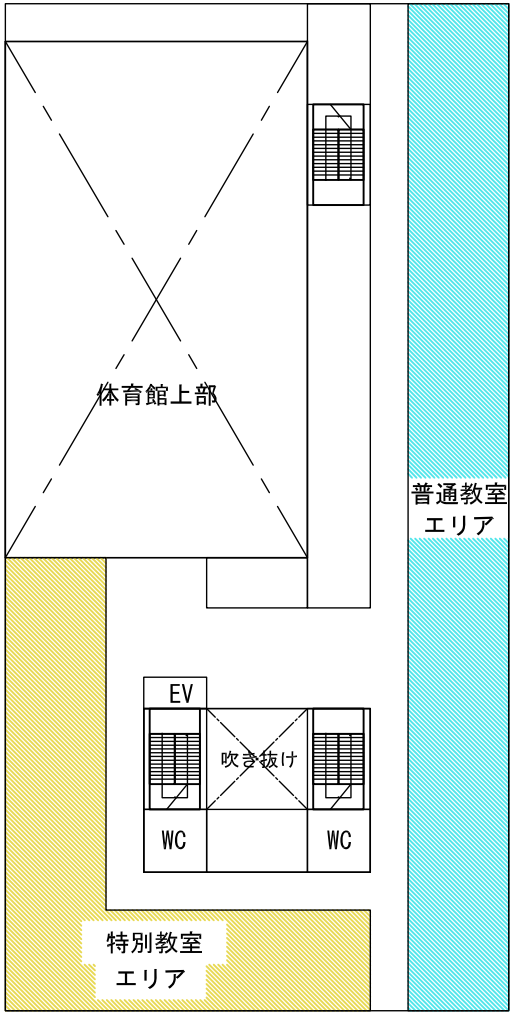
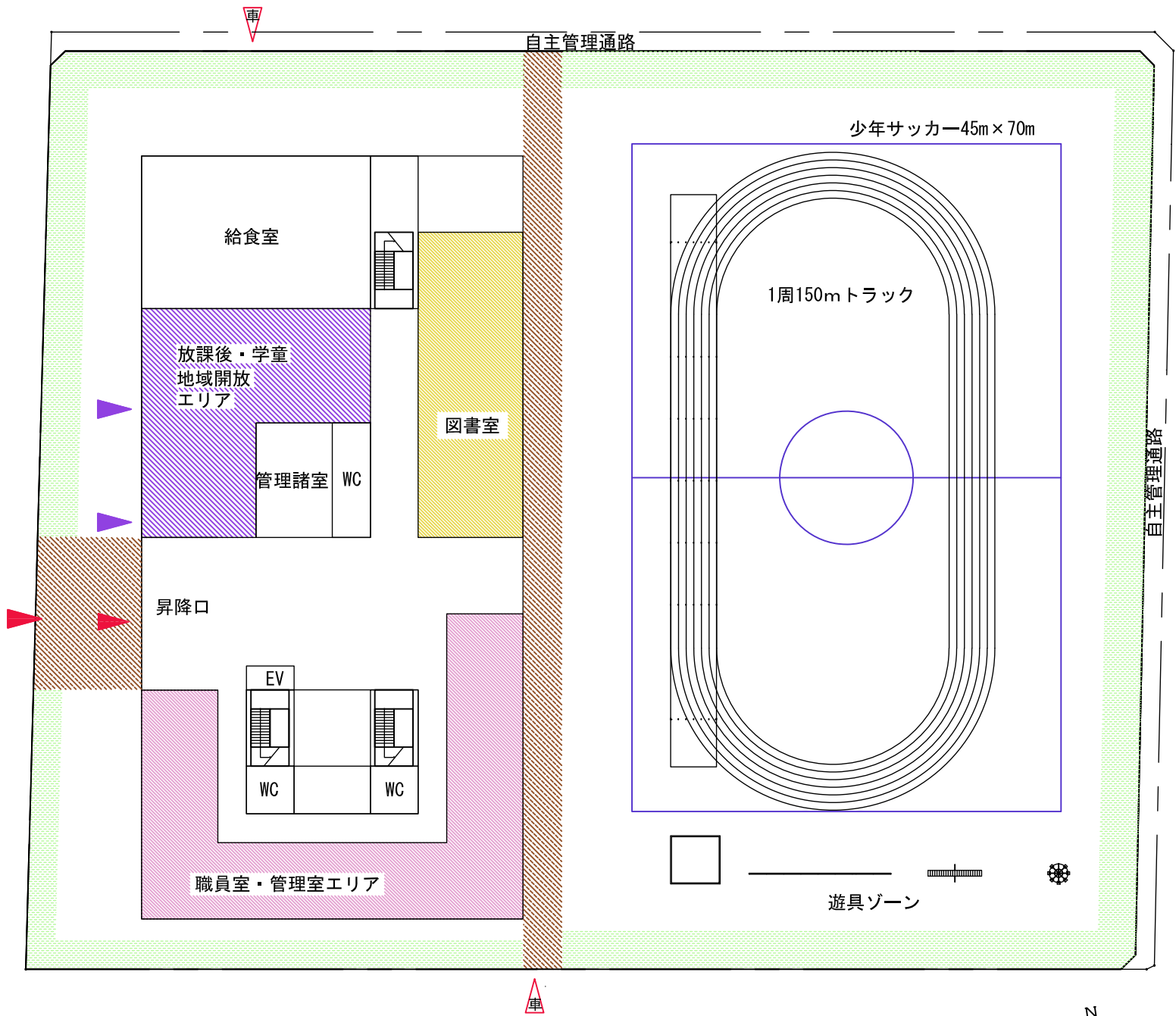


2F平面図

D 案 西校舎案

- 凡例
- 普通教室
 - 特別教室
 - 体育館
 - 管理諸室
 - 放課後・学童教室
 - アプローチ
 - 入口
 - 緑地（想定）

延床面積 8,727㎡
校庭面積 5,800㎡（緑地含む）



1. 基本方針（案）

（１）健康で安全な環境が整った施設

学校は、「教育の場」であるとともに児童が一日の多くを過ごす「生活の場」でもあります。そのため、快適な生活空間を確保しつつ、学校全体の防犯体制や保健衛生の配慮など、安全管理を徹底します。

（２）時代の変化に対応できる施設

児童一人ひとりの個性を伸ばし、生きる力・考える力・課題を解決する力を育むために、様々な教育内容や教育方法に適応し、時代の変化にも柔軟に対応できる施設とします。

（３）情報社会に対応できる施設

高度情報社会のなかで、パソコンなどを通じて必要な情報や知識を手に入れやすくします。また、児童が読書に親しみやすい空間と併設することで、これらから得た情報を的確に利用する能力を高め、知識を学習に活用しやすい施設とします。

（４）地域防災の拠点としての施設

区立学校は足立区地域防災計画において、第一次避難所・緊急避難建物として指定されています。万一の災害に備え、施設整備にあたっては、避難所としての機能が十分発揮できるようにします。

（５）地域に開かれた施設

学校は地域との連携と豊かな区民文化を育む「地域コミュニティ」の場でもあります。PTAや開かれた学校づくり協議会などの活動はもちろん、開放利用団体の方にも使いやすい施設とします。

（６）利用しやすく人と環境にやさしい施設

学校は児童や先生を中心として、保護者や地域の皆さんなどの様々な方が利用する施設です。ユニバーサルデザインの考えを取り入れ、高齢者や障がいを持っている方など、誰もが利用しやすく、人にやさしい施設とします。また、公共施設として、緑化・太陽光パネルの設置・照明のLED化など、可能な限り省エネルギー化に努め、自然環境に貢献できる施設とします。

（７）地域のシンボルとしての施設づくり

学校は、地域の皆さんにとって最も身近な公共施設です。地域の調和を図り、まちなみを考慮した、親しみを持てる施設とします。また、学校や地域の特色を生かした学校づくりを行います。

（８）成長を実感できる教育施設

児童の学びや教職員の意欲をより高めるため、集中して学習できる環境をつくります。さらに、地域や保護者が見守ることのできる環境を整えることにより、学校にかかわる人たちも、ともに成長を感じ取れる施設とします。